

令和5年度 第1回天王寺区教育会議（会議要旨）

日 時：令和5年9月27日（水）19時00分～20時00分

場 所：天王寺区役所 講堂

出席者：〔学校協議会〕

戎委員（天王寺中）、高岡（達）委員（夕陽丘中）、米川委員（天王寺小）、高岡（勇）委員（聖和小）、稲田委員（真田山小）

〔区政会議子育て・教育班〕

植田委員、大野委員、岡崎委員、児玉委員、飛田委員、平田委員

〔学校〕左海校長（聖和小）、神田校長（夕陽丘中）

〔区役所〕加藤区担当教育次長、高野区教育担当部長、渡邊区教育担当課長、

寺戸区教育担当課長、近藤区教育担当課長代理、森本区教育担当課長代理

傍聴者・報道関係者：なし

○天王寺区の教育に関する取組について

資料「天王寺区の教育に関する取組について」により渡邊区教育担当課長より説明

○委員意見及び回答（学校教育の支援（学力・教育環境向上の取組）、社会教育関連の取組）

【小学生国際理解教室について】

- ・講師派遣、講義内容はどのように決めているのか。
→各学校にて決定。
- ・伝統を学ぶのは教育としては必要な部分もあるが、私見としては、入国した子も知らない年代の遊びを学ぶより、現在の子が日常遊んでいることを、講師の講義内容にする方が、講義後に遊びを通じて、関係も深まると考える。
- ・国際理解教室は、中国に限らず、他の国の講師を派遣することも可能なのか。
→可能。国際交流センターの事業を活用しており、こちらに登録されている国であれば、講師派遣出来る。
- ・区内8校中2校しか取り組みされていないのは、区の発信も弱いのではないのか。
→各学校が考えるニーズもあり、活用されていないことも考えられる。
- ・校長先生にご教示いただきたいが、学校では働き方改革が行われている中で、最低限の教育カリキュラムを履行する必要がある、なかなか事業を拡大することは厳しいと思うが、国際理解事業については、どのように考えておられるのか。
→国際理解教育については、既存のカリキュラムを優先していること、また働き方改革により教員負担を軽減する取り組みをしていることで、委員のお考えのとおり、なかなか区役所の事業まで取り組み出来ない点もある。
- ・多文化交流は今のこどもの時代は活発に行われてくるので、これに対応できる人材育成をしていただくよう期待している。

【学校行事について】

- ・子どもの運動能力低下が取り沙汰されているなか、児童数増加、運動場の狭小化により、運動会が開催しづらくなっている。
- ・過去に区内の高校を借用する案も出たが、会場までの移動や、トイレの使用等について課題が多くみられた。
- ・他校の運動場を借りるかどうかは学校長の判断になると、熱中症など問題が発生すると学校責任になり、変革をおこしづらいのではないか。
区役所としてなにか後押しできないのか。指針などができればすすめやすいと思う。
- ・例えば簡易トイレや熱中症対策のテント購入、保健スタッフを派遣するための予算をつけるなど、学校をサポートしてほしい。

【ジュニアクラブについて】

- ・当初は参加型の活動であったが、現在は会員企画による活動を実践されているので、継続していただきたい。